

My Stars 通信

No.50

December 2019

マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』50号ができましたのでお送りします。2019年10月末現在の登録者数は9,924名で、1万人まであと80人を切りました。



利尻島に雪が降る

今年は全国的に台風、大雨、洪水が多発していましたが、初山別では割合天候に恵まれ、星空もよく見えました。その分雨が少なく川が干上がりそうなくらいまで水量が減っていました。夏以降は平年並みに降り、ちゃんと帳尻が合うようになっています。利尻島では9月下旬に初冠雪が見られ、初山別では10月9日の未明に雷鳴が轟き、夜が明けると路肩に雪だまりが、草陰にもサラッと雪が見られました。これは非公式ですが初山別の初雪です。11月8日は朝から周囲一帯が真っ白になっていました。この画像は10月29日の利尻島です。この冬は雪が多いという予想もありますが、どうなるでしょう。

綺羅星・星座ガイド

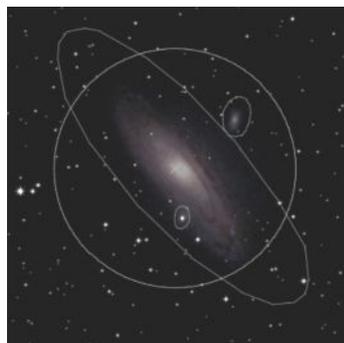
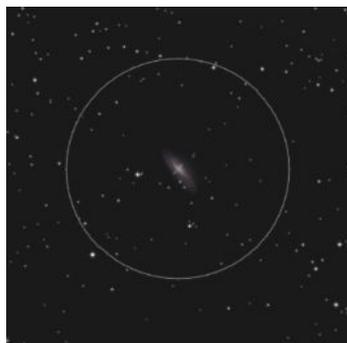
天体の中には超有名なものが沢山あります。雑誌や図鑑などに掲載されている画像は、どれもカラフルで素晴らしいものです。写真は光をためて写すので淡い部分も良く写りますが、肉眼では光をためることが出来ませんので、ぼんやりとした淡い姿しか見えません。これらを実際に望遠鏡で見るとどう見えるでしょう。それらを望遠鏡の口径別に比べてみました。何れも冬の時期に見られます。



アンドロメダ銀河 (M31)

アンドロメダ座にある銀河で、『銀河道999』というアニメで目的地に設定されていたところ。銀河系に最も近い大型銀河で、細長い形をしています。見かけの長さは満月の4倍ほどあり、望遠鏡で見ると視野からはみ出してしまいます。

比較図は左から実写画像、双眼鏡(7x50、視野7°)、25倍(10cm望遠鏡、視野2°)、50倍(20cm望遠鏡、視野1°)です。丸い円は視野を表しています(以下同じ)。だ円は銀河の外側の縁です。接眼レンズにより多少の違いはあ

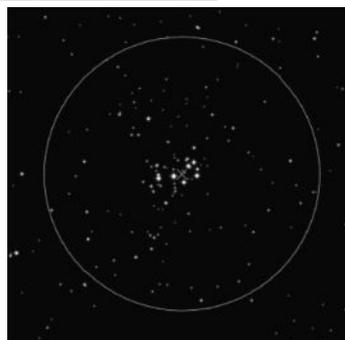


りますが、25倍ですすでに視野からはみ出しています。しかも中心部は明るいものの全体にぼんやりしています。大きい割にあまりよく見えない天体です。なお、この銀河は明るいので肉眼でもぼんやりとした光を見ることが出来ます。



プレアデス星団 (M45=すばる)

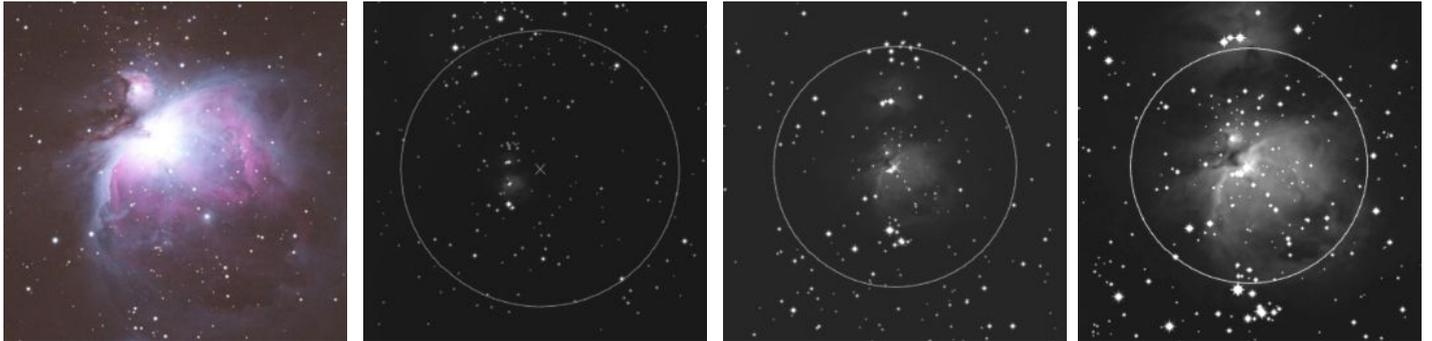
おうし座の背にある星団で、日本では『すばる』としておなじみの星の群れです。この星団はまだ生まれたての若い星です(たったの5000万歳。太陽は50億歳だからまだ赤ちゃん星なのです)。肉眼でもぼんやりとしたかたまりに見えますが、よく見ると星が数個見えるでしょう。見かけの大きさは満月の3倍ほどあります。この星団は、写真には青白い星雲に包まれたように写りますが、肉眼でこのガスは見えません。双眼鏡で10数個の星が見えますが星雲は暗いところがかすかに見える程度です。10cm望遠鏡になると星の数もぐっと増えて、30個以上見え、星雲もかすかに見えてきます。20cm望遠鏡では星団全体が星



雲に包まれたように見えますが、視野が狭くなって来るので、星団の一部が視野からはみ出してしまいます。星は80個以上見えるようになります。この星団には120個以上の星があります。ギリシャ神話のプレアデスは、7人姉妹と言うことになっていますが、実は120人以上の姉妹がいたんですね。肉眼では、普通の視力なら6~7個、視力の良い人なら10個くらい見えるようですが、あなたはいくつ見えますか。

オリオン大星雲 (M42)

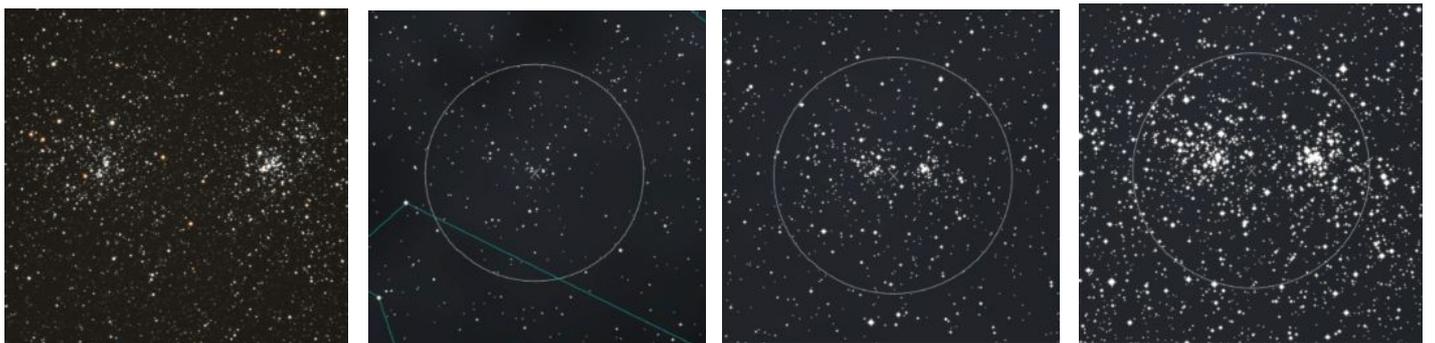
オリオン大星雲は有名な星雲の一つで、撮してみたい星雲のトップと言ってもいいでしょう。赤く大きく広がった姿は、天体写真を撮ってみたいという人なら、あこがれの存在です。ですが、写真ではカラフルなのに、望遠鏡で見ると白い雲のようにしか見えません。そのギャップにがっかりする人も少なからずいるはず。これは人の目には見える色に限界があり、普通は可視光線しか見えません。ところが写真では可視光線に加えて紫外線や赤外線も撮せます。星雲の赤い色は赤外



線に近い領域になるため、目では見えないのです。双眼鏡で小さな雲の切れ端のように、ぼんやりとシミのように見えます。10cm望遠鏡では広がりのある星雲がわかります。この星雲は見かけの大きさが満月の2倍ほどなので、50倍で視野いっぱいに見えます。20cm望遠鏡では明るさにムラがあるのがわかり、さらに大きな望遠鏡なら複雑に入り組んだようすや、青っぽいガスや赤っぽいガスが少し見えてきます。

二重星団 (NGC869-884)

ペルセウス座にある星団で、二つの星団が並んでいるため『二重星団』と呼ばれています。それぞれの星団は満月1個分ほどの広がりがあり、両方を一緒に見るなら40倍以下の倍率がよいでしょう。それぞれの星の数はそれほど多くないのですが、天の川の中にあるため周りに星が多く賑やかです。双眼鏡で二つの星の集まりがわかり、10cm望遠鏡で星の数がグンと増え、20cm望遠鏡では星だらけになります。この中にはオレンジ色の星がたくさんあります。画像の右の星団で、星が密集しているところをよく見ると、星の並びがタコの姿に見えてきます。一度確かめてみてください。



星図はステラナビゲーター11 (アストロアーツ) にて作成しています。

綺羅星星物語

今回の星物語は3編ご紹介します。

≡ SUENO・MASAYUKI

6月19日に満70才になる、妻スエノは認知症（早発性アルツハイマー）で、症状はアルツハイマースケール（FAST）に当てはめると（平成28年4月18現在）ほぼ最終迄進行している。

理解し得る発言は皆無
歩行能力喪失寸前
着座能力有



本人は苦しんで苦しんで、苦しみぬいている。私ができる事はしておきたい。まだ動けるので、60才の誕生日に行った北海道ツアーでどこよりも喜んでくれた。オプションツアーで行った十勝三股で70才の誕生日を迎えてやろうと年頭に思った。不安だったが、多くの助けを頂き準備できた。

十勝三股行きの結果良好で、条件が整えば、次に、星に名前をつけさせてもらった初山別村へ行き、二人で天文台よりその星を見たい。その為に何としても十勝三股行きを成功させたい。

平成28年4月18日

≡ HANAWO KANON

2018/5/10に愛猫の「はなを」が生後9ヵ月という若さでお空に行きました。はなを君は近所の人達(老若男女)から凄く愛され可愛がられてる、人が大好きな甘えん坊でした。

はなをの事が色々なところで噂になってたのか小中学生が学校帰りに家に寄って、はなをの事を見に来てくれたりしてて人気者でした！

今も色々な人に愛されており、これからもたくさんの人に愛されてほしいという思いと、地上の私達とお空にいる「はなを」が同じ星を見れたら良いなと思い、HANAWO KANONという名前にしました。

はなをは私にくっつくのが好きだったので寂しくないように私の名前、KANONも入れました。



≡ XiaoLan

小蘭（XiaoLan）へ

小蘭、元気ですか？

私は宵藍です。

こうやって、あなたへ手紙を書いたのはいつぶりでしょう。今この瞬間の気分は落ち着いているなら幸いです。

何でも、心理学の中には、自分宛の手紙を書くことで、今抱えている不安や、苦しい過去と向き合う方法があるそうですね。

あ、先にこの手紙を読んでいる人が混乱しないように、あらかじめ断りを入れておきましょうね。

この文章を書いている私、宵藍と小蘭は同一人物です。

本名に「蘭」がついているので、そこから「小蘭(=中国語で『蘭ちゃん』)」、

「宵藍(=宵の青空の色、ととらえて下さい)」という名前をつけました。どちらも発音は(XiaoLan(シャオラン))となります。

私が名前をつけるきっかけとなったのは、二年前でした。小蘭、何があったか覚えていますか？

そうですね。仕事で体を壊してしまったんです。毎日と言って良いほど、職場では誰かの怒鳴り声が出ているのをガマンしながら作業を進めたり、私も「まだ書類出来ていないの？」ってものすごいプレッシャーをかけられながら、上司からの仕事をしたりしたんだよね。

それもあったんだろうね。二年前の六月に、突然目まいがして、歩くと気分が悪くなっちゃったんだよね。

本当に、あんなことになるくらいなら、さっさと辞めた方が良かった。今は大分良くなっただけで、それでもあの時の辛かった記憶からは完全には抜け出せてはいないんだよね。

あれは・・・多分もうしばらくは私の中に留まっているでしょうね。

メールじゃなくて、手書きなのにも訳があるんだ。

倒れる前の私を知っている人曰く、まだ筆跡に具合の悪さが感じられるんだって。

確かに、自分でも以前とくらべて、字が汚くなったり、明らかに書き間違いが増えたような気はしているんだ。もしかしたら、所々で文法も変になっているのかも知れないね。理解しづらいところがあったら、ごめんなさい。

治療も、自分が考えていたよりも中々良くならなくて、正直、もう止めたいと思うこともあるよね。

これからの日々の生活がどうなってしまうのか、不安にさいなまれたり、「もう私、このまま一人ぼっちで生きていくのかな・・・。」と、終わりのない絶望のうちひしがれてしまう瞬間が前ぶれもなく来てしまうことも知っていますよ。

だから、今回、自分の星を持つことに決めましたよね。

せめて一つでも良いから、自分が存在していた証を残したかったんですよね。

だからだよ。登録証明書が届いたときには、

「ああよかった。これで大丈夫なんだ。死んだら真っ先に“XiaoLan”に行くんだ。私は私がいたことのしるしを手に入れたんだ!!」と、ものすごく嬉しくなったんだよね。

・・・この手紙を読んでいる他の人にも、もう少し分かり易く説明しましょうか。



..そうですね。私にとっては“XiaoLan”は墓標です。そしてまた、私が残りの人生を生きていく為の希望の星でもあります。

“墓”ときいてあまり良くないイメージをもたれた方もいるかも知れないのは分かっています。でも、“XiaoLan”を所有したことで、救われた私もいたのも事実です。

自分の星を持った日から、私は少しずつですが、前向きになれる時間が長くなったような気がします。

私本来の生きるスピードがもう一度取り戻せるのであれば、それはそれで良いことだと私は思っています。

小蘭はどうですか？ 私としては、あなたの気持ちが和らぐのであれば、別に問題はないんじゃないか、と感じてはいたのですが・・・。

あ、感じる、で思い出しました。

前からうすうす気づいてはいたんだけど、その・・・いずれは、“XiaoLan”に招いても良いかな、って思える特別な人がいませんか？

あ、やっぱりいたんだね。「何で知っているの？」って言われても、そりゃ自分のことだから分かっていますよ。大丈夫です、「あの人でしょ？」なんて無粋なことはいけませんから。

でも良いんじゃないかな。何年先になるかは分からないけれど、あの人は私の星に来てもらっても、悪いことにはならないし、むしろもっと楽しいことになると思うから。

「恋する気持ち」も、「あの人を愛する気持ち」も、あの人とあの人が育った場所の為に祈り続ける」ことも、これから先も続けていきましょうね。

そうすれば、もっと私たちの人生、幸せで面白いものになると思うから。

ね、そうしましょう？約束ですよ。

心配することは何もないんだから。これまで辛かった分の十倍は幸せになっていんだよ。誰が何て言ってこようと、私はそうであることを認め続けるから。

これまでの過去も、現在も、未来も、私たちのことも、全て受け入れて生きていきましょう。

あ、もうそろそろ七時二十分になりそうだね。確か八時閉店だったよね。よし、じゃこのハーブティーを一息に飲み干して、お家に帰りましょう。お店のマスターには、場所をかしてもらったお礼を言わないとね。

また、何かあったら手紙を書きますね。

最後にもう一つだけ。

私はずっとあなたと一緒にですよ。あなたは私の大切な友人ですし、「あなた」は「私」で、「私」は「あなた」ですから。

今も、そしてこれからも、共に生きていきましょう。

つたない手紙を最後まで読んでくれて、本当にありがとう。
大好きだよ。

2019年6月13日
もう一人の私、宵藍(XiaoLan)より

天文トピックス

2019～20年の天文情報（12月～5月）

流星

ふたご座流星群（12/1～12/20）

12月に入ると活動が始まりますが、見やすいのは12月10日ころから17日ころまでです。ピークは15日02時ころですが、12日が満月で、15日はふたご座の東に明るい月があり、一晩中空を照らして、期待度はやや低めです。

こぐま座流星群（12/20～12/25）

一晩中沈まない流星群で、黄色っぽく長い流星が特徴です。今年は新月前の細い月があるだけで、条件としては最良ですが、数は多くないため期待度はやや低めです。

しぶんぎ座流星群（1/4）

年頭を飾る流星群です。2020年は上弦の月がありますが夜中に沈むので、その後は月明かりもなく最良で、期待度は高めです。

こと座流星群（4/20～4/25）

こと座のベガ付近に放射点があります。2020年は新月で月明かりの心配は全くありません。元々あまり活発ではないので期待度は普通です。

みずがめ座イータ流星群（5/1～8）

ハレー彗星に伴う流星群で、青白い色をした速くて長い流星が特徴です。明け方の数時間しか見られないため、夜明けの早い北海道ではほとんど見られませんが、本州以南では夜明け前の1～2時間くらい見られるでしょう。極大は6日未明で、今年は満月前の月があり、月が沈むころは空も明るくなって来るので条件は良くありません。期待度は南の地方ほど高く、北海道ではほぼ絶望的です。

彗星

ブランペイン彗星（C/289P）

5.4年周期で回る彗星で、12月下旬から1月にかけて肉眼でも見えると予想されています。12月31日から1月4日にかけてペガサス座の四辺形の中を南から北へと縦断します。

日食・月食・星食

12月26日の夕方、全国で部分日食が見られます。インドネシア方面で金環日食になるので南の地方ほど欠け方が大きく、那覇で47%が欠けて見えます。

